

## カワハギのはく製について



魚好き

## 目次

- (1) はく製の作り方
  - ①用意するもの
  - ②はく製を作ろう！
- (2)工夫したこと/難しかったこと
- (3)作ってみた感想
- (4)カワハギミニデータ
- (5)今後の展望
- (6)参考文献・引用文献・参考番組

## (1) はく製の作り方

### ①用意するもの

- ・キッチンバサミ
- ・エタノール水
- ・古歯ブラシ
- ・カワハギ（さばかれていないもの）
- ・ニス（透明なもの）
- ・ドライヤー
- ・スタンドなど（はく製を立てるもの）
- ・ケースなど（カワハギが入る大きさ）
- ・お皿（カワハギが入る大きさ）
- ・絵の具や色を塗るペンなど
- ・ゴム手袋
- ・紙粘土
- ・乾燥剤
- ・防虫剤

②はく製を作ろう！！

1. カワハギの尻の穴から、キッチンバサミをいれ、尾鰭に向かって切っていく

ポイントは、はさみをねかせることです。

2. 身の隙間に指をいれて、皮をはがす

3. 両側はがせたら、尾鰭の身を切る

ポイントは、身を残さずにとることです。(のこしてしまうと、完成時に、臭くなります)

4. 背鰭と尻鰭にある、たんきこつを切る

ポイントは、たんきこつを、しっかりとていねいに切ることです。

5. 真ん中まで皮をはいたら、尾鰭側の身を切り落とす

6. 切り落とした際に内臓も取り除く

体の部分終了！！

7. 頭の皮を切りながらはがす

ポイントは、第一背鰭の根本付近はかたく、胸鰭や鰓蓋は、破けやすいので、慎重にはがす

8. 歯をのこして、口を切る

ポイントは、3. と同じように、身を残さないように切ること  
皮をはがす作業終了！！



9. お皿にエタノール水を出しカワハギの皮をつけながら、古歯ブラシで皮の汚れを取り除く（古歯ブラシでみがいたあと、エタノールに1日つけるとよいです）

ポイントは、汚れをしっかりとりのぞく（汚れがあると完成時に、汚れが残ります）



10. ペーパータオルで皮をふく

11. 紙粘土を皮に詰める

ポイントは、ぎゅうぎゅうに詰めることです。

12. 紙粘土で穴の開いた部分をうめる

ポイントは、後で色を塗るので白くていいのでしっかり穴を埋めることです。そしてこの時にスタンドも腹の部分にさしておきましょう。

13. 紙粘土で目を作る

ポイントは、目玉焼きのように、うすひらたく作ることです。



14 皮全体にニスを塗る

ポイントは、ムラがないように塗る事です

15 ドライヤーでニスを乾かす（ドライヤーで乾かしたあとに 1 週間ほど乾かす）

16. ニスと一緒に目や中に詰めた紙粘土も乾かす

17. 色を塗る（目と穴の開いた部分に塗る）



18 ケースなどにしまう（乾燥剤・防虫剤と一緒に）  
これで完成です！！

(2) 工夫したこと・むずかしかったこと

①工夫したこと

- ・ 白い部分に色を付けたこと
- ・ エタノールに1日つけたこと
- ・ 背びれや、あたまのとげをうまくニスで立たせたこと

②むずかしかったこと

- ・ ぴったりのケーススタンドを探す（大変だった）
- ・ あたまのとげと、背鰭の部分をはがすのが難しかった
- ・ 色塗り（似た色を作るのが大変だった）

(3) 作ってみた感想

上手にできてうれしかったし、上手に色を塗れたし、上手く背鰭、とげを立たせられてよかった。

(4) カワハギミニデータ

- ・ カワハギは、日本近海では青森県～九州南岸の日本海・東シナ海・太平洋沿岸、伊豆諸島北部、瀬戸内海などに分布している。
- ・ 生息水深は、100mより浅い岩礁や、その周辺の砂底に生息し、甲殻類、貝類、多毛類などの動物を好んで食べる。
- ・ 歯が鋭く、貝の貝殻や甲殻類の殻もかみくだいてしまうほど、強力。

(5) 今後の展望

- ・ 次は、身をしっかりとりたい。
- ・ 次は、目をもう少しうまく書きたい。
- ・ 次は、似ている、ウマズラハギなどでも作ってみたい。

(6) 参考文献・引用文献・参考番組

- ・ 小学館の図鑑Z 日本魚類館 小学館 中坊徹次編・監修 2018年
- ・ ギョギョっとサカナスター挑戦！釣り&はく製作り NHK 放送日 2024年5月4日